



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 7月号
平成19年7月20日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 371-0757
FAX 381-7248

こんな夏休みにできたら・・・

学校長 小池 慎一

私が子どもの頃の横浜は、南の空から天頂にかけて天の川が、はっきりと見えていた、そんな時代でした。

今では、空がすっかり明るくなってしまっていて、横浜では天の川はほとんど見えません。少し残念な気がします。

子どもの頃、私は、星を見るのが好きでした。

星を見てから寝ると、ぐっすり眠れるような気がしました。

夏休みの夜、蚊帳をつた部屋に夜具の準備を済ませた後、縁側に座つ

て星を見ながら、宇宙の大きさや異星人はいるのだろうかとか、そういう

想像をして、夕食後のひとときを過ごしていたのを思い出します。私の親は「早く寝なさい」と言い

つつも、そんな私の空想の話に、結構つきあってくれたように思います。



夏休みが明日から始まります。

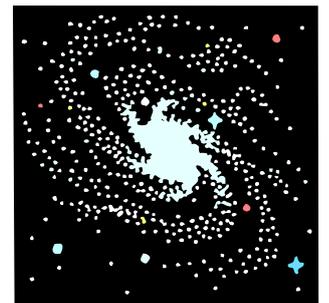
横浜で見える星の数は、以前に比べると、とても少なくなったと思いますが、それでも星座を形作る明るい星は、かなり見えます。冬の空ほどには空気が澄んでいないけれど、気候的には、温かい(暑い)ので星を見るのによい季節だと思います。例えば、はくちょう座のデネブ、わし座のアルタイル(彦星)、こと座のベガ(織姫)の3つの星は、とても明るい星なので、この星たちで作られる「夏の大三角形」は、すぐに見つけることができます。



「夏休みに星を見てほしい」と言いたいものではありません。

星である必要もありません。

せっかくの夏休みなので、気持ちにゆとりをもって、ふだんも確かにそこに存在しているのに、なかなか見えないでいるものに、心の中にある目を向けてほしい、そして自分自身の世界を広げてほしい、そんな夏休みにできたらよいと思っています。



そして、8月31日に、元気な顔を見せてほしいと思います。